

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 小児慢性腎臓病患者の腎移植前後におけるエネルギー消費量測定とその臨床応用』

【研究の背景および目的】

小児慢性腎不全においては成長障害が重要な合併症の一つであり、特に乳幼児期は栄養障害が成長障害に大きく関与しています。しかしながら、慢性腎不全、並びに腎移植後の小児患者さまに必要なエネルギー所要量に関する検討はこれまでほとんどなされておりません。

そこで、東邦大学医療センター大森病院小児腎臓学講座では、小児慢性腎不全、並びに腎移植後の患者さまに必要なエネルギー摂取量を解明することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、小児慢性腎不全患者さまに対する適切な栄養療法の提供につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2017年～2020年までに東邦大学医療センター大森病院小児腎臓科において、腎臓移植を受けることを目的とした移植前検査で入院した6歳未満の小児患者さまで、入院時に本研究に関する研究計画書にご同意を頂いた症例(約20例)を対象とします。

二重標識水という人体に無害な水を摂取し、数回の血液検査・尿検査を行い、エネルギー所要量を測定します。この結果を診療録(カルテ)から抽出した検査結果とともに解析することにより、小児慢性腎不全の患者さまに必要なエネルギー所要量を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

【利益相反について】

本研究の実施担当者のうち1名は企業との関係がある職務に就いています。しかし、本研究では、データ解析は複数の研究実施担当者が相互にチェックできる体制で行うため、客観的に分析することができます。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

腎臓科

職位・氏名 助教 高橋雄介

電話 03-3762-4151 内線 6757